

| 平成 30 年 第 2 回 横浜市つたのは学園及び中山みどり園指定管理者選定委員会会議録 |  |
|--|--|
| 日 時  | 平成 30 年 7 月 5 日 (木) 10 時 00 分～12 時 00 分  |
| 開 催 場 所                                      | 横浜市長津田地区センター 2 階小会議室 A   |
| 出 席 者  | 石渡委員長、森委員、渡邊委員、中野委員、逸見委員   |
| 欠 席 者  | なし   |
| 開 催 形 態                                      | 応募団体ヒアリングのみ公開 (傍聴者 0 人)、その他は非公開  |
| 議 題  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前回の委員会及び公募の状況等について</li> <li>2 応募団体ヒアリング (横浜市つたのは学園指定管理者)</li> <li>3 応募法人審査</li> <li>4 審査結果 (選定結果) について</li> <li>5 選定結果報告書について</li> <li>6 その他</li> </ol>   |
| 議 事  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前回の委員会及び公募の状況等について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 前回の委員会における訂正事項について<br/>第 1 回委員会における委員からの、「前期指定期間におけるつたのは学園指定管理者の応募法人数」についての質問に対し、事務局の回答「2 法人」は「4 法人」の誤りであった。この訂正については第 1 回議事録にも反映させていただいた。</li> <li>(2) 公募の状況等について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 月 6 日から募集要項を配付し、4 月 25 日から 5 月 24 日まで応募の受付を行った結果、1 団体法人から応募があった。<br/>応募法人：社会福祉法人偕恵園</li> <li>・ 4 月 10 日に応募説明会及び現地見学会を設定 (参加団体なし)。</li> <li>・ 4 月 13 日から 4 月 19 日まで募集要項等に関する質問書の受付を行ったが、質問は 0 件だった。</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>2 応募法人ヒアリング (法人プレゼンテーション 20 分、質疑応答 20 分)<br/>社会福祉法人偕恵園<br/>【プレゼンテーション】 (プロジェクターによる映像を使用) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人理念及び横浜市指定管理運営の振り返りについて</li> <li>・ 施設運営について (財務的な考え方、事業計画、職員体制、地域生活への移行、他機関との連携、地域との交流、自主事業等)</li> <li>・ 法人の職員数及び有資格者について</li> <li>・ 人材育成及び研修システム、権利擁護への取組等について</li> <li>・ 法人の運営実績及び財政状況について</li> <li>・ 今後の収支見込について</li> <li>・ 日中活動について</li> <li>・ グループホーム等法人の運営する事業所について</li> </ul> </li> </ol> |

【質疑応答】（趣旨）

（委員） 先ほど理事長からグループホームの新設の話があったが、何人規模のものであるか、また今後の法人としての増員計画はあるか。

（応募法人） 法人のグループホームにはつたのは学園利用者2名が入居している。

平成30年度建設予定のグループホームは、平屋または2階建てエレベーター付を予定している。職員体制は夜間1.5名、利用定員は5名を予定。

将来的には、隣接地にもう1棟増やせたら、と考えている。

（委員） 新設のグループホームは、つたのは学園の利用者を優先的に入居させる予定なのか。

（応募法人） 入居者については、つたのは学園の利用者以外に、地域からも希望者が入居できるよう横浜市から指導を受けている。

（委員） 法人における障害者雇用について伺いたい。

（応募法人） つたのは学園では常勤で1名の雇用がある。法人全体としては、ふれあいショップを持っているので、雇用率はクリアしている。

（委員） 利用者のうち自閉症の方の割合はどれくらいか。また自閉症の方への具体的な支援について、どのような工夫をしているか。特に課題と考えていることは何か。

（応募法人） 利用者のうち自閉症の方は約半数。

昨年度から発達障害者支援センターの専門職員による研修を受講するとともに、パーテーションの設置など、落ち着いて過ごせるようハード面での工夫もしている。

やはり他害や自傷行為があり、窓に体当たりするなどの行為もある。ご家族の方と相談しながら改善に向けた取り組みをしている。職員体制がうまくいっていることもあり、園外活動を含め、利用者にあった小回りの利く活動ができていることから、利用者の方も比較的落ち着きが見られるようになっている。

（委員） 法人に公認会計士や会計事務所、税理士などは定期的に入っているか。

（応募法人） 法人には公認会計士が1名入っており、月に1回各施設を回り指導している。

（委員） 平成29年度法人単位事業活動計算書の6種の収益のうち、障害福祉サービス等事業収益について、前年度決算に比べ109%、約1億円の増となっている理由は何か。

（応募法人） 利用者の障害支援区分が重くなってきていること、利用者数の増及び出席率が上がっていることが挙げられる。継続事業においての利用増であり、新規事業を拡大したというわけではない。

（委員） 人件費の比率は理想的と思われる。1年に何人ぐらい入職して、何人

退職しているか。

(応募法人) 退職はほとんどいない。28年度常勤換算数は21.6名。園長やサービス管理責任者を含めて1.5名の職員増。受け入れている実習生がボランティアや常勤の就職を希望してくれており、ありがたい。保育から障害分野を希望してくれる実習生の方も多い。

(委員) 障害者施設においては理想的な職員の増え方と思われる。

(委員) 退職する方が少ないとのことだが、職員の年代層について伺いたい。

(応募法人) 20代が多く、20代から30代が6割、40代が少なく1割、50代が3割となっている。

(委員) 指定管理料提案書及び収支予算書の人件費積算に資格手当の記載があるが、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、看護師はそれぞれ何人在籍しているか。

(応募法人) 社会福祉士1名、介護福祉士4名、精神保健福祉士0名、看護師1名、他に資格手当対象でないが保育士が4～5名在籍している。

法人全体としては、常勤、非常勤を問わず資格取得を推奨する体制を取っている。

(委員) 利用者の高齢化及び重度化が大きな課題ということであるが、具体的にどんな課題が出てきているか。医療との連携はどうなっているのか。嘱託医についてはどうか。

(応募法人) 開園から35年が経過し、利用者も家族も高齢化が進んでいる。具体的には歩行、嚥下など機能低下が見られる。理学療法士に指導してもらい、日常の介護支援について検討している。

医療関係については、常勤の看護師を中心としている。年に1回、歯科医による利用者の検診を実施し、地域の医療機関につなげることもしている。

嘱託医は地元の開業医に委託しており、地域のこともよく理解している。

(委員) 2年前の横浜市福祉サービス第三者評価結果報告書のうち、B評価である項目が3項目あるが、改善はされているか。

(応募法人) 2年前の指摘であり、すべて改善されている。

自立生活・地域生活への移行支援については、家族会に情報提供し、グループホームへの入居実績もできた。

地域の福祉ニーズの把握については、長津田地区センターにて地域住民への保健福祉に関する勉強会を実施している。

施設内の支援の一貫性を確保するための取り組みについても、定期的に施設内マニュアルを見直し、改善に努めている。

(委員) 財源に余裕が出てきたということで、社会貢献活動について取り組んでいきたいといった意向をおっしゃっていたが、具体的にどのような取り組みを考えているか。

(応募法人) 一つにはグループホームの建設、5年後の目標として、空き店舗

を利用した喫茶、物販等を地域への発信の場として検討している。また、長津田地区センターとの共有ホールを利用した地域交流も検討している。

数年前からは、桜の季節に近隣の高齢者やグループホーム利用者を招待したり、隣接する長津田小学校の特別支援学級との交流、中学生福祉体験の積極的な受入れなどを通してつたのは学園の利用者との交流を図っている。今夏は、長津田地区センター主催のデイキャンプに職員が参加することで、地域の障害者参加の機会をつくろうとしている。

(委員) つたのは学園は長津田地区センターとの合築施設であり、環境的にも恵まれている。地域交流については、もっと積極的に打って出ていただきたい。世代間交流についても期待している。

(応募法人) 今後は内部の事業だけでなく、一歩進んで地域貢献にも取り組んでまいりたい。

### 3 応募法人審査

(1) 審査に先立ち、選定後の採点の公表等について確認がなされた。

公表内容については、委員の名前を伏せた上で、大項目ごとの評点の公表を行う。

応募団体が1法人かつ現指定管理者であったため、第1回委員会での審議どおり「現指定管理者のみが評価の対象となる管理運営の実績についての点数を含めた合計点(215点)に対して、各委員の採点結果の平均点が5割(107.5点)に満たないとき」は選定されず、再度公募を行うことを確認した。

(2) 審査については、選定基準の大項目に沿って意見交換、質疑応答等を行いながら、応募書類及びヒアリングの内容をもとに採点を行った。

なお、応募資格について、「暴力団又はその構成員の統制下にある法人でないこと」を神奈川県警察本部に照会・確認済みであり、市税滞納の有無についても所管課に照会・確認済みである旨が事務局から報告された。

主な意見交換、質疑応答の内容は次のとおり。

- ・経常増減差額の売上に占める比率や自己資本比率等からみて、財務状況は良好である旨委員から報告がなされた。
- ・運営について、とても努力している。利用者の地域移行や地域との連携を社会貢献活動とあわせて進めてほしい。
- ・協力しやすい大きな医療機関等との医療連携を進める必要がある。
- ・第三者評価の課題を改善するなど、前向きな方向性が評価できた。
- ・第三者評価も高評価であり、利用者の満足度は高い。
- ・高齢・重度化、自閉症や強度行動障害の利用者も多いことから、専門性の高い職員配置が必要であり、資格取得のあっせん等を進めてほしい。

### 4 審査結果(選定結果)について

(1) 事務局で各委員の採点を集計。集計結果は次のとおり。

総得点 937.1点

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>各委員の素点の平均点 187.4 点<br/> (参考：委員会の定める最低基準 107.5 点)</p> <p>(2) 採点の集計結果を受け、横浜市つたのは学園の指定管理者の候補者として、社会福祉法人偕恵園を選定することを決定した。</p> <p>6 選定結果報告書について</p> <p>(1) 事務局から、選定結果報告書の様式の案が提示され、説明がなされた。様式については特に意見はなく、案をもとに作成することとされた。</p> <p>(2) 選定結果報告書の総評欄については、応募審査にあたり各委員から述べられた意見を事務局がまとめた上で案を作成し、それを各委員があらためて確認したものを委員長と事務局とで調整することとされた。</p> <p>7 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の会議録の確認は、森委員と逸見委員が行う。</li> <li>・指定管理者の指定については、本日の選定結果をもとに、平成 30 年第 3 回市会定例会に指定議案を提出し、平成 30 年 9 月頃に正式に指定を行う予定。</li> </ul> |
| 資 料 | <p>1 資料</p> <p>(1) 次第</p> <p>(2) 第 1 回議事録写し</p> <p>(3) 選定基準・採点表 (各委員用)</p> <p>(4) 選定結果報告書 (案)</p>  |